

## 平成28年度第1回熊本市障がい者自立支援協議会 委員事前質問一覧

項目	質問	市回答	質問者
<p>・資料1 平成28年熊本 地震への対応 状況等</p> <p>1 戸別訪問等 による安否確認 (P12～14)</p>	<p>①避難行動要支援者名簿の登録日はいつのものか。</p> <p>②進捗状況の不在者数(者)へは何かしら不在通知を投函したのか。知らなかったという方が周りにいる。</p> <p>③全ての手帳所持者に対し「支援のお知らせ」(7月～8月)送付とあるが、通知が遅いと感じている。その反省は記載がない。一番欲しい時期になかった。</p>	<p>①平成28年1月1日現在の情報(年1回更新)。</p> <p>②不在者宅には戸別訪問に係る相談窓口または相談支援事業所チラシを投函した。ただし、周囲に障がいを隠しているのにチラシを入れられると困るという苦情が多く寄せられたため、状況によっては投函していないとのこと。 また、不在者には既に転居していた等、居所不明の方も多く含まれる。</p> <p>③当初は避難行動要支援者(重度の障がい者)を中心に戸別訪問を行ったが、不在であった障がい者への対応や避難行動要支援者以外の障がい者への対応も含めた支援策として、再度、支援のお知らせを送付することとしたもの。</p>	中山委員
2 福祉避難所の提供(P15)	<p>福祉避難所は市の指定で要請があった場合に開設することになっている。</p> <p>①〔課題〕で、被災することを想定した上での協定施設を確保とは、他市町村の施設のことか。</p> <p>②振り返りにおいて、福祉施設は入所の食料3日分が確保されているのみで、その他は自力で集めるしかない状況である。市からの支援物資が届けられる仕組みが必要ではないか。</p> <p>③「福祉避難所のあり方」において、福祉避難所の場所等の周知とあるが、市民が押し寄せるだけで却って混乱を招くのではないか。</p> <p>④福祉避難所に災害弱者の障がい者が速やかに利用できなかった理由を厳しく質問します。 担当職員の業務怠慢は目に余るものがある。 障がい者が後回しにされてしまった。4月16日から3日～7日が問題なのです。</p>	<p>①「7. 振り返り(課題及び対応案)」の「(3)福祉避難所のあり方」の記載のとおり、日頃から施設協会等と協議を行っていくことにしている。</p> <p>②確かに今回の場合、発災直後は混乱しており、十分な物資提供は出来なかった。各施設での数日分の物資の確保に加え、発災直後からの民間団体との連携等が必要と考える。</p> <p>③④今回、協定を結んでいる施設及び施設職員も被災しており、特に発災後しばらくはご紹介できる福祉避難所が限られてしまった状況があった。また、中山委員がご指摘のとおり、今回はそのような課題があり公表できなかったが、本来は、市民が誰でも避難可能な施設ではないことを含め、そのスキームから十分理解いただけるような公表を検討する必要があると考えている。</p>	<p>中山委員</p> <p>多門委員</p>

項目	質問	市回答	質問者
2 福祉避難所の提供(P15)	⑤福祉避難所の提供で、熊本市内では20施設が利用されているようだが、すべて障がい関係施設なのか？高齢者施設においても協定を締結されていたと思うが、障がい関係施設との割合が分かれば教えて欲しい。	別紙資料参照	勝本委員
7 振り返り(課題及び対応案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1には、各節ごとに「課題」が挙げられています。さらに最後の「振り返り」においては、「課題」とともに「対応案」も挙げられています。</li> <li>・これらの「課題」や「案」について今後、より具体的に協議し、実現化していくまでの工程を熊本市としては、どのように考えておられるのでしょうか？ご説明願います。</li> <li>・あいまいな表現を極力避け、いつ(When)どこで(Where)誰が(Who)誰に(Whom)どんなニーズで(Why)何を(What)話し合っていくのかを、明確に示していただけると、各委員も分かりやすいと思います。</li> <li>・また、協議のなかでは、どんな方法(How)いつまでに(Howlong)いくらかけて(Howmatch)どの位の規模(Howmany)について、客観的な裏付けを持って進められるよう、貴課にてご調整いただけることを願います。</li> <li>・上記の協議を進めていこうとする際に、支障となるような案件がありましたら、お示ください。</li> </ul>	<p>今回の資料では、現時点のおおまかな課題及び対応策をまとめている。</p> <p>現在、熊本市復興計画も策定中であるが、具体的な対応については、皆様のご意見を伺いながら検討を進めて参りたい。</p>	松村委員

項目	質問	市回答	質問者
<p>・資料3(P5) 委託相談支援 事業に係るモニ タリング結果に ついて</p>	<p>「熊本市障がい者相談支援センター利用実績」について、 ①センター(9ヶ所)毎に数値差が大きい点について、明らかな理由や要因を把握されていれば教えて欲しい。 ②延利用者数は各センターからの市への実績報告数の分析であろうが、カウント方法は統一されているか？</p>	<p>①熊本市障がい者相談支援センター きらり(東2圏域)は10月1日からの開所。委託を機に現在地へ移ったことに加え、前年度以前は指定特定相談支援事業所としての事業運営のみであり、他の事業所に比べて市民への浸透度が低かったため、相談件数としては少なかったと思われる。地域の関係機関や行政との連携強化の取組を進めていただいており、徐々に件数は増えてきている。 その他、精神障がい者からの相談が割合として多い事業所では、不安解消のための電話が多く、延件数も多い傾向にある。</p> <p>②カウント方法は平成26年度以前の補助の時期から統一であったものの、事業所によって解釈が異なる部分もあったことから、相談支援機能強化員連絡会議において統一がなされたところ。しかし、まだ不十分な点もあるため、今後改めて確認を行う。</p> <p>1件あたりの相談にかかる手間や時間はケースバイケースであるため、市からの事業所のモニタリング評価に際しても、件数実績については大きなウェイトは置いてはいない。しかし、地域の障がい福祉の中核としての活動が求められるため、事業所としても市としても広報に力を入れて参りたい。</p>	<p>勝本委員</p>

(別紙) 平成28年熊本地震に伴う福祉避難所開設状況

	協定施設数 (熊本地震発生前)		利用施設数 (新規協定施設含む)		8月上旬現在の 受入者総数(人) ※実人数	8月上旬現在の 受入者数(人)
	うち市外		うち市外			
高齢者施設	120	0	56	0	274	24
障がい者施設	55	18	28	8	235	7
児童施設	0	0	0	0	34	0
その他(大学等)	1	0	0	0	0	0
計	176	18	84	8	543	31

※児童の受入者は、高齢者施設での受け入れ。